

めじろむつみクラブ（MMC）会報

[第22号]

2012年(平成24年)1月1日発行
新年特別号

特定非営利活動法人（NPO）
めじろむつみクラブ（MMC）事務局
住所：八王子市めじろ台2-37-12
t e l : 080-1038-6875
<http://www.hachioji-mmc.com/>

新年明けましておめでとうございます。

年頭に当たり皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。

東日本大震災の一日も早い復興を願い、本年は希望の年の幕開けといたしましょう。

NPO 法人めじろむつみクラブは著しい高齢化の中、八王子市、関係諸団体のご支援を頂きながら自立を目指し、家事支援活動と地域交流を目的とした文化活動を併行して進めて参りました。

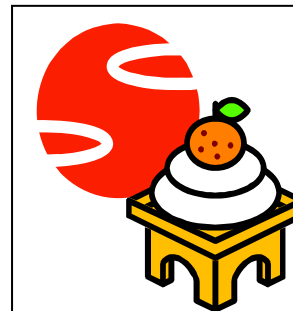
お蔭様で今年10年の節目を迎え、会員も162名となりました。

文化活動はコンサート、趣味の作品展、めじろ寄席、そして講演会と多彩！

回を重ねるごとに充実し、皆様に喜ばれ、関心を持って頂いております。

以下の各催しをご覧ください。

めじろむつみクラブ（MMC）は本年も地域の街づくりのために、益々皆様の信頼とご期待に応えるように努力致します。どうぞよろしくお願い申し上げます。



(理事長 高橋光男)

1. 23年度作業の状況（12月31日現在）

（1）生活支援他有償事業

4月1日からの作業件数は109件、金額面では年間受注予定額3,750,000円にほぼ到達しました。

今年度は大震災に関連する作業・・・大谷石塀の地震対策用鉄板張り、地震で倒壊の恐れのある大谷石塀を市の生け垣造成補助制度を利用した生け垣造成作業も行いました。



M 邸大谷石塀の補強作業



K 邸大谷石塀から生け垣設置作業（以下3枚）



また大型台風で傾いた植木の切断、撤去、支柱による補強も行いました。
変わった作業では家具の解体処分、引越し荷物の整理手伝い、フェンス・郵便ポスト取付け、インターフォン交換、物置移動竹垣取付け等、植木剪定作業の他に敷地内外の作業依頼に応えることが出来ました。
また、町会会館広場の木材チップ敷き均し作業や、各町会を通しての空地草刈処分も行いました。

今後も皆様のご依頼に応えられるよう頑張りますので、是非事務局にご連絡下さい。
また、経験を問わず作業をして頂ける会員を常時募集していますのでご一報下さい。



会館広場の木材チップ敷き

2. 新会員の紹介

9月1日以降、奥村和代、古屋叡子、阪田真佐子、小笠原美恵子、椿裕一郎、志村邦治、石渡裕政、古西真由美さんが入会されました。
今年度の入会者は23人になり、会員総数は162名になりました。(12月31日現在)



3. MMCオータムコンサート2011 開催

今回はMMC理事・宮川さんと勤め先で一緒だったテナーサクソ奏者・志村二三男さん(あきる野市)とめじろ台二丁目在住の津軽三味線・長谷川光徳さんの演奏会。
長谷川さんは昨年8月に続く第2弾。

- ・日 時 : 10月22日(土) 13:00~15:15
- ・場 所 : めじろ台第1会館
- ・入場料 : 300円(小中学生無料)

① テナーサクソ・志村さんは会社員時代に、勤務先の吹奏楽部でテナーサクソを覚え、プロの楽団でジャズを演奏してきた人。
今回は予め演奏曲目を決めていたものの軽妙洒脱な語りで志村さんペースで進められました。
メガネとひげ、カッコいい帽子のちんどん屋さん姿で会場を一巡しながらの演奏も今までにないコンサート風景。
「今日でお別れ」「荒城の月」などを入場者全員で大合唱、アンコール曲は、ボサノバ調で「枯葉」。

演奏途中、かつて長命で話題となったきんさん、ぎんさんの子供さんたちの話が出て、4人いるお子さんはいずれも80歳を超えているがお元気の由。
それは十分な睡眠、バランスの取れた食事、無理のないスポーツの3つのSともう一つのS、スマイル(笑い)を加えて4Sを、これが長生きをする秘訣との紹介がありました。



②津軽三味線・長谷川さんの今回は日本海側の民謡を中心の演奏。

北前船の運航により熊本・牛深一佐渡一青森・十三湖と民謡も転々とし、同じおけさでも微妙に変わっていることの紹介がありました。

津軽民謡では珍しい6／8拍子の「津軽三下り」、嫁さんいびりの歌と言われている「弥三郎節」、「津軽よされ節」、佐渡情話の一節「津軽あいや節」などの語りと演奏、加えて尺八をバックに皆で「月の砂漠」を合唱。

前回に続く長谷川さんの迫力あるバチさばきに会場は熱気にあふれていました。

(講座開催事業担当)



4. 第7回趣味の作品展を開催

史上まれに見る大地震と原発事故、多くの人々が未体験の恐怖に襲われ8ヶ月が過ぎました。

全国的に多くのイベントが中止や縮小される中、めじろ台秋のお楽しみ? 「趣味の作品展」に果して例年どおりに出展していただけるのか、予測がし難い状況でした。

しかしながら、皆様の趣味への情熱は担当者の想像を遙かに超えるものでした。お蔭様で下記のような結果を得られました。

作品展に限らず、地域の人々が力を合わせて事をなすことの素晴らしさの原点を、垣間見た2日間でした。

ご支援、ご協力、ご出展をいただいた皆様に心から厚く御礼申し上げます。

☆ 概要と結果

- ・開催日時 : 11月12日(土) 午前9時～午後5時
11月13日(日) 午前9時～午後3時

- ・会場 : めじろ台第1会館

- ・展示品 : 絵画、書、写真、造形粘土、生け花、押絵
和紙ちぎり絵、木彫り仏像、きれ画、俳句
押し花、編み物、洋服、フランス刺繍、
木工品、はり絵、押し花絵、絵手紙、
着物リサイクル、ビーズなど

- ・出展者 : 67名、 ・展示品数 : 120点、
・来場者 : 308名 (めじろ台 249名、他59名)

今年は12名の新規出展者に参加いただき、より一層幅広い作品が集まりました。中にはプロ級と称賛される作品、素朴でまさに手作りそのものの作品。

知り合い同士で訪れ1点1点を評価鑑賞しながら半日近く過ごされたり、来年は出展したいとの申し出、作品の購入を申し出等、まさに多士済済の「めじろ台芸術の秋」でした。

(地域交流事業担当)



5. 「2011めじろ寄席」を開催

今年も中央大学落語研究会（落研）の4人を招いて、寄席を開催しました。

- ・日時：12月18日（日） 13:00～14:45
- ・場所：めじろ台第1会館1階
- ・木戸銭：300円



① 「犬の目」 疾風亭迅雷

ある男が目を患い、いい医者はいないかと友人に相談。友人の推薦する医者へ駆け込んだ。手術は手遅れ気味、くり抜かないと治らないと。さっさと目玉を引っっこ抜き、洗って戻そうとするが水でふやけてしまい、はめ込めない。仕方ないと陰干しに。そこへ犬が来て食ってしまう。では、と罰として犬の目をくり抜き、男にはめ込む。今までよりはるか遠くも見える。夜、物音に気が付きすぐ起きる。でもあまり良くないんですと男。「電柱を見たら小便をしたくなる」・・・

② 「初天神」 快樂亭グリーン

正月、男（父親）が天神様に参拝に出かけようとした。女房が息子（金坊）を連れて行ってくれと頼む。

天神様への道を歩きながら、父親は息子に買い物をねだるなよと念を押す。ねだらないと最初は言っていたが、ぐずられて結局、団子を買って与えてしまう。天神様の参拝を終えて、今度は凧を買ってくれとせがまれる。これまた買ってしまふ。父親が凧揚げに夢中に。これを見た子供「こんなことなら父親なんか連れてくるんじゃないか」・・・と、ぼやく。正月に好んで演じられる。

③ 「尻餅」 ふられ亭小松太

八五郎の家では大晦日というのに夫婦喧嘩をしている。貧乏所帯ゆえ正月支度ができない。長屋の手前せめてもと、餅屋が来たところから餅をつく場面まで、全て音だけで再現しよう。「そろそろ餅をつきますので・・・」と臼を出せと、かみさんの尻を出させる。かみさんの白い尻が真っ赤に。かみさん「お前さん、これ以上、私しゃもう無理。お前さん代わっておくれ」「俺か」「そうよ今度は新餅だよ」・・・

④ 「お見立て」 ふられ亭愛狂

吉原の喜瀬川花魁（おいらん）。今日も今日とて地方人の壱兵衛大尽がせっせと通ってくるが、嫌で嫌でたまらない。若い衆（喜助）に「病気だごまかして帰してくれ」と頼む。病気なら見舞いと。面倒臭くなった若い衆「今日亡くなりました。息を引き取る前に壱兵衛大尽に会いたいよ」と言って亡くなったと言ってしまふ。これを聞いた壱兵衛、涙にむせび、では喜瀬川の墓参りにと言いつつ。若い衆は仕方なく大尽を案内して山谷あたりにやってくる。仏花（実は枯れ花）、線香（実は松明）などを適当に墓前に。煙の中から見ると男の名前。これではないと次は童女名。更にと案内したら陸軍上等兵！「本当の墓はどれなんだ」「へえ、よろしいのを一つお見立て願います」・・・



今回の入場者は会員も入れて37人、もうチョット入って欲しいところでした。（講座開催事業担当）

6. 事務局便り

(1) 今後のイベント（計画）

3月中旬、皆様に関心のあるテーマで講演会（テーマ未定）を予定しております。

(2) 広報活動

平成24年2月25日第2回NPO八王子会議、3月10日「八王子市セカンドライフ講座」に参加してMMCのPRを予定しています。